



FULL

[フル]

Vol.13

地域につながる。自分をひろげる。



421 Lab. メールに登録して最新情報をGET!

info421@kitakyu-u.ac.jp



REGION × STUDENTS

地域と学生を掛け合わせたら何が生まれるのか。

今回は、国際交流プロジェクト FIVA(Fukuoka International Volunteer Association) について取り上げ、受け入れ先の1つである北九州 YMCA 学院(以下、YMCA)の谷崎さん、留学生の王さん、プロジェクトメンバーの田中さんに、活動に対する想いを語っていただきました。取材当日は FIVA の活動日で、その合間にお時間をいただき、話を伺いました。

—初めに、FIVA の活動に参加しようと思ったきっかけは何ですか？



王さん: 最初日本に来たばかりの時、日本について何も知りませんでした。なので、日本人の友達を作りたいと思ってこの活動に参加しました。

田中さん: 日本で外国の方と英語や日本語を通じて交流できるところに魅力を感じました。留学をしなくても外国の方と関われる機会があるのはとても貴重なことなので参加しようと思いました。

谷崎さん: 北九州 YMCA 学院にはアジアを中心に 400 名以上の留学生が在籍し、日本語の勉強をしています。日常生活で日本人と接する機会が少ないという現状があります。特に同年代の方と関わるのが少ないため、この活動を通して同年代の日本人との交流を行うようになりました。

これからの時代、職場でも日常生活でも外国人と共に行うことが当たり前の多文化共生世界がますます広がります。その中で、今後留学生が日本で最も関わるようになるのは同年代の日本人です。そのため、留学生と大学生がこの活動を通してお互いを理解し認め合うことで多文化共生社会が促進され、また、活動を継続することで多文化共生社会を促進できる人を増やしていきたいと考え、この活動を始めました。

—この活動の中で大変なことは何ですか？

王さん: 大変なことは、日本語が上手く話せないの、伝えたい意味と伝えた言葉が全然違うことがあることです。しかし、皆さんが優しいので理解しようと努めてくれます。また英語も少し話せるので、英語を使ってコミュニケーションをとることもあります。

田中さん: さまざまな国の留学生がいっぱいしゃるので、宗教的に何を食べることができるのか・できないのか、ベジタリアンではないか、事前にリサーチしますが、一緒に食事をするときには細かく注意を払う必要があることです。

谷崎さん: お互いに積極的にかかわることができるかどうかで、活動での充実度が変わります。交流の時間は限られていますので、スタートからお互いに積極的にかかわることでより多くの異文化理解ができ、違う国の友人もでき、とても充実した時間を過ごすことができると思います。その結果、「また会いたいな。もっと話したいな。」など、次回が楽しみになると思います。



—実際に参加してみて、活動してよかったことはありますか？

王さん：みんな優しく、最初は日本語が上手じゃなかったけれど、頑張って私の話を聞いて返事をしてくれました。ありがたかったです。

田中さん：YMCA さんとの交流では日本語で話すことが多いのですが、私達の話すテンポとか、日頃使う言葉だとやはり難しく理解してもらえないことが多いので、いかにやさしい日本語を使って相手が理解してくれるかを意識して話すことができます。また、英語を使ってコミュニケーションをとる際、私達の英語も伝わらなかつたり、相手の英語を私たちが理解できなかつたりとかよくあります。しかし、いかに自分たちなりの英語力を使って話せるかという積極性が得られました。

谷崎さん：留学生のみなさんは同年代の日本人の考え方や感覚などを知ることができ、自国の文化や自分の考え方や感覚と比較することで、日本や日本人の理解ができるようになりました。



活動の様子・留学生と楽しくおしゃべり。

—今後の展望は何ですか？

王さん：日本人の友達が多ければ多いほどいいですし、活動すればするほど日本語もだんだん喋れるようになると思います。また、日本人だけではなくてほかの様々な国の人たちもこの活動を通して友達が作れるので、今後もイベントを探したいと思います。

田中さん：私たち FVA と YMCA の方々の交流はよくあるのですが、私たちの目標設定でもある「地域と外国の方をつなぐ」ということがあまりできていないので、今後は地域の方と YMCA の方と私達で活動ができたらいいなと思います。

谷崎さん：多くの方にご参加いただき、お互いに良い友情を作りながら多文化共生社会を促進していきたいと考えています。

profile

たにぎきょうた
谷崎 亮太さん
出身：北九州
趣味：食べ飲み歩き



たなかみく
田中美玖さん
出身：北九州
趣味：食べ歩き



おうみんじょ
王旻如さん
出身：台北
趣味：音楽鑑賞
映画鑑賞

インタビュアー
編集者
樹村 祐希
(経済学部1年)
吉崎 朱音
(経済学部1年)
取材日
2019年12月14日
@北九州市立大学

STEP1 Plan

事前研修

応える姿勢を整える



STEP2 Do

実践活動

知識に経験を重ねる



4つの
ステップ

STEP4 Action

振り返り研修

自己の成長を確認する



STEP3 Check

発表機会

他者の視点に触れる



「何を考えるか」から「何を学びとるか」へ

近年、学習のカタチが変化し、教員が一方に教える講義スタイルから、社会現場での体験活動に主を置いた実習スタイルが増えてきました。421Lab. でも、被災地の復興や自然環境の保全、伝統文化の継承などの実社会にある身近な課題をテーマとして、専門分野を超えて課題解決に向けた連携が進んでいます。

しかしながら、一般的な実習スタイルでは「体験すること」が目的となりがちであり、本来のねらいである「教育」からずれてしまうこともあります。

421Lab. では、「事前研修」、「実践活動」、「発表機会」、「振り返り研修」というPDCAサイクルを回すことで、学生自身が何を学びとるかを考え、確実に成長するプログラムを備えています。地域活動に関わった学生が取り組んだ課題に興味を持ち、卒業後の進路につながったり、活動で達成できなかった部分を自分の課題として向き合ったりしていくことにつながります。体験するだけで終わるのではなく、学生が「体験を通して学びとる」ことに注力し、学生の成長を応援します。

災害時緊急支援チーム

災害発生時には行政や社会福祉協議会からのボランティア要請に迅速に応え、災害ボランティアセンター(通称:災害VC)の運営等に携わります。

おもな活動内容 ・年に1度研修を行います

施設での学習支援

様々な事情を抱えている小中学生に対して学習支援を行い、自主的な学習の定着と学力の向上を目指します。

おもな活動内容 ・宿題や予習・復習を行う
・学校の授業の流れに沿って解らないところを学習

※小学生は国語・算数の2教科、中学生は国語・数学・英語の3教科

若園保育所「英語で遊ぼう」

園児を対象とした、遊びを交えて英語に親しみ、学んでもらう活動です。笑顔で参加してくれる子どもたちと一緒に英語を楽しんでくれる人を募集します。

※月1回活動+準備日

おもな活動内容 ・絵本の読み聞かせ ・ゲーム
・季節行事などを通じた英語学習



北九州市立大学
地域共生教育センター(421Lab.)
Regional Symbiosis Education Center

PROJECT 2020

2020年度 地域活動 プロジェクト紹介

発行 北九州市立大学地域共生教育センター
発行日 2020年3月
編集 北九州市立大学地域共生教育センター
協力 プロジェクトに参加いただいている多くの皆さま

02 KITAQ∞『絆』復興応援プロジェクト

被災地支援

東日本大震災を忘れず、長い支援を!



「北九州市からできる、細く長い支援」を心掛けながら北九大学生だからできることは何かを一人一人が意識し、どのように活動に取り入れていくかをメンバーで共有、形にしています。被災地への訪問や勉強会の開催を通して風化防止活動を行っています。
また、活動の一つとして小倉発祥の焼うどんに岩手県釜石産のスルメイカを使用した「絆焼うどん」を販売。売り上げの一部を義援金として寄付しています。

✓ こんな人におすすめ!

- 復興支援活動に興味のある人
- 様々な年代の人と話すことが好きな人
- おまつりが好きな人

おもな活動場所 北九州市、近隣の被災地
昨年度参加人数 20人
活動頻度 週に1回のミーティング(1時間程度)、月に1回ほどのイベント活動(北九州市内での絆焼うどんの出店、勉強会の開催、他プロジェクトとのコラボ活動等)

01 421Lab.学生運営スタッフ

組織運営

地域と学生の架け橋



多くの北九大学生に地域活動を通して貴重な学びを得てもらうため、地域活動の魅力を発信し活動しやすい環境を整えることを目的に活動しています。地域活動をする学生に対し、より充実した学びを得てもらうためのサポートを行うと同時に、運営スタッフも地域に出て、地域の皆さんと一緒に活動しています。

✓ こんな人におすすめ!

- 誰かのために頑張りたい人
- マネジメント能力を身につけたい人
- いろんなことに取り組みたい人

おもな活動場所 北九州市立大学、北九州市内
昨年度参加人数 62人
活動頻度 各グループ、週に1~2回のミーティング(週に1回全体ミーティング)、各グループ、イベントに応じて活動(週1~2日)

03 防犯・防災プロジェクト(MATE's)

防犯・防災

防犯・防災意識向上の“きっかけ”づくり



「北九州を学生の視点から安全・安心なまちにしたい」そんな思いから、防犯・防災という切り口で活動を行なっています。そういった中で、一人ひとりが他人事ではなく自分事として考え、方が一の時ベストな行動がとれるよう、防犯・防災の側面から地域コミュニティの活性化を図るプロジェクトです。

✓ こんな人におすすめ!

- 防犯防災に少しでも興味のある人
- コミュニケーション能力を上げたい人
- 幅広い年代の人と関わってみたい人

おもな活動場所 北九州市内の小・中学校や市民センター、朝倉市等
昨年度参加人数 43人
活動頻度 月2回程度の定例ミーティングなど平均月3.4回の活動

04 ハッピーバースデー プロジェクト

子ども・教育

子どもたちが成長できる誕生日会をつくるために～ゼロから作る特別な誕生日会～



児童クラブには保護者の方の仕事の都合で放課後を家庭で過ごすことができない子どもたちが多くいます。そのため、子どもたちに少しでも楽しく特別な時間を過ごしてほしいという思いからプロジェクトがスタートしました。現在は、大学生が月に一度、東朽網放課後児童クラブを訪問し、自分たちでゼロから企画、運営する誕生日会を開催しています。

✓ こんな人におすすめ!

- 子どもと接するのが好きな人
- 工作、絵が好きな人
- 子どもたちが喜ぶ誕生日会を企画するのが好きな人

おもな活動場所 東朽網放課後児童クラブ
昨年度参加人数 12人
活動頻度 誕生日会 第3水曜日 準備 毎週水曜日の3~5限

06 『食』から学ぼうプロジェクト

食育・環境

若者の食に対する関心を高める



大学進学で一人暮らしを始め、食生活が乱れて、不健康になってしまう学生は少なくないです。そこで私たちは若者の食の意識の低さを懸念し、それを解消するための活動を行っています。食と健康について自発的に学習、学習の成果を子どもたちや同世代の学生に伝えています。子ども食堂での昼食献立作りと調理、地域の小学校での食・健康学習の支援、学内外での調理実習や食習慣改善教室への参加、お弁当作りの推進など様々な食育活動を行っています。

✓ こんな人におすすめ!

- 調理に興味がある人(特に調理が苦手な人!)
- これから自炊を頑張ろうとしている人
- 若者世代への食育に関心がある人

おもな活動場所 足原ピッコロ子ども食堂、広徳小学校、各自宅のキッチンなど
昨年度参加人数 16人
活動頻度 ミーティング:月に2時間程度、毎週金曜日行事やイベントの企画運営をするときは、集まる時間や連絡などやり取りが増えます。

05 桜丘小学校学習支援プロジェクト

子ども・学習支援

とにかく深く!児童の学力向上に貢献!!



小倉北区の桜丘小学校や富野小学校にて、児童の学習支援を行っています。担任の先生と一緒に、通常行われている授業に参加し「AT=アシスタント・ティーチャー」として、子どもの理解をサポートする役割を担っています。その他にも、特別支援学級に入り生活支援を行ったり、前年度からは子どもたち向けに「キャリア教育」と題し、将来の進路について特別授業を行ったりしています。

✓ こんな人におすすめ!

- 教員免許取得を目指している人
- 子どもが好きな人
- 子どもの学習支援に興味がある人

おもな活動場所 北九州市立 桜丘小学校、富野小学校
昨年度参加人数 9人
活動頻度 月5時間程度 ※小学校の時間割に自分の空き時間を合わせて自分でスケジュール調整ができる

07 子ども食堂応援プロジェクト

子ども・教育

おなかも心も満たされる、あたたかい居場所づくり



仕事等で保護者の帰宅が遅くなる家庭の子どもたちの孤食を防ぎ、子どもたちが「たたいま」と言える第三の居場所を提供することを目的に、子ども食堂での活動に参加しています。私たちのプロジェクトでは、子どもたちとご飯を食べるだけでなく、個別に学習支援を行ったり、一緒に全力で遊んだりイベントを企画したりと様々なアプローチから楽しい居場所を作ることを目指しています。

✓ こんな人におすすめ!

- 子どもが好きな人
- 学習支援、イベントの企画に興味がある人
- 行動力、積極性がある人、あるいは積極性を身に付けたい人

おもな活動場所 尾倉市民センター、日明市民センター、城野市民センター、小倉中央市民センター、大里南市民センター、足立市民センター
昨年度参加人数 65人
活動頻度 (尾倉)第24週(水)17:00~(日明)第1~3週(木)17:00~(城野)第4週(水)17:00~(小倉中央)第3週(金)17:00~(大里南)第1~3週(水)17:00~(足立)第13週(火)17:00~

08 いぬねこプロジェクト

動物愛護・啓発

北九州市の犬猫関係なら、いぬねこプロジェクト！



私たちは、「犬猫の殺処分ゼロ」を第一目標として活動しています。また、人と犬猫がよりよく関わりあえる環境づくりを目指して活動しています。門司港での譲渡会への参加に加え、今年度後期からはドッグセラピージャパンさんに受け入れていただき、介護施設や子ども食堂等でのセラピー活動や、犬猫に関する啓発活動を行ったりしています。

✔ こんな人におすすめ！

- ドッグセラピーに興味がある人
- 犬猫の殺処分問題に取り組みたい人
- 動物や人と触れ合うことが好きな人

おもな活動場所 北九州市内の介護施設、かたの子ども食堂、門司港

昨年度参加人数 15人

活動頻度 ミーティング:第一水曜日と第三水曜日のお昼休み
ドッグセラピー:月に約3回
子ども食堂:毎月最終金曜日

09 「ブンガクの街北九州」発信プロジェクト

地域振興・文学

日常に文学を



森鷗外や松本清張など、北九州市にゆかりのある作家は多くいます。しかし、そうしたことを知らない若者の多くは、北九州市の文学的側面に注目することが多くありません。私たちブンガクプロジェクトは、若者の「文学って古い、固い、難しい」といったイメージを変え、「文学」を新たな北九州市のブランドとしていくために活動をしています。

✔ こんな人におすすめ！

- 文学好きな人!(全ジャンルOK)
- イベントの企画運営に興味がある人!(1から創り出します)
- 新しいことに挑戦してみたい人!

おもな活動場所 ミーティング:学内 イベント:京町を中心とした様々な地域

昨年度参加人数 18人

活動頻度 学内ミーティング:月に4コマ程度、毎週水曜日など(ミーティングの日程は、メンバーの時間割を考慮して決定)
受け入れ先ミーティング:月に2回程度
イベント:1・2ヵ月に1回程度

10 食べる国際貢献プロジェクト TFT

国際貢献

ランチから始めるおいしい国際貢献！



世界では全人口約70億人のうち、20億人が肥満に苦しむ一方で10億人は飢餓に苦しんでいます。この食の不均衡を解決するために、私たちは学食でTABLE FOR TWO(以下TFT)メニューを販売し、1食につき売上の20円を途上国の子どもの給食1食分の寄付金として届ける活動を行っています。生協食堂にご協力いただき、月1回のTFTフェアの開催と、その広報活動を主にしています。

✔ こんな人におすすめ！

- 美味しいものを食べて国際貢献したい!
- ポスターやポップの作成など広報活動を経験してみたい!
- 身近な“食”を通して、飢餓や肥満など食に関する国際的な問題について考えたい!

おもな活動場所 北九州市立大学 北方キャンパス 北方食堂

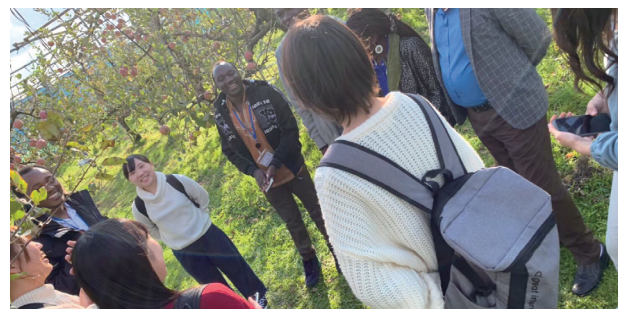
昨年度参加人数 17人

活動頻度 毎週一回、メンバーの都合がよい曜日の昼休みにミーティングをしています。調理実習や学園祭への出店などの企画直前の忙しい時期は、ミーティング外の活動が週に1~2時間程度生じます。

11 国際交流プロジェクトFIVA

国際交流企画

笑って、学んで、楽しむ。北九州市で国際交流。



北九州市に日本の技術を学びに来るJICA研修員さんやYMCA日本語学院で日本語を学ぶ留学生の方たちに、日本滞在期間中に充実した時間を過ごしてもらうための国際交流を行っています。自分たちで一から交流活動の企画・運営をすることで、交流づくりの楽しさや異文化理解の重要性をより深く学ぶことが出来ます。また、地域住民のご協力も得ながら多文化共生の心を育むことを目標としています。

✔ こんな人におすすめ！

- 多文化共生に興味がある人
- イベントの企画・運営が好きな人
- 継続的に物事に取り組める人

おもな活動場所 北九州市内各所

昨年度参加人数 61人

活動頻度 ミーティングなど:毎週水曜日昼休み
イベント:月1~2回程度

12 地域クリーンアッププロジェクト

環境活動

ゴミも学びも拾おう！



清掃活動を通じて地域を変えるきっかけ作りを目的に活動しています。主に大学周辺の北方校区で地域の方と一緒に定期的な清掃活動(green bird)を実施しており、清掃活動の運営やイベントの企画などを行っています。また、小倉北区馬島の漂着ゴミの清掃活動や紫川清掃など、様々なフィールドで活動に取り組んでいます。

✔ こんな人におすすめ！

- 積極的に清掃活動に参加し、継続して取り組む事ができる人
- 社会人の方や幅広い年代の方と関わってみたい人
- 自分自身を成長させたい人

おもな活動場所 北方校区、北九州市小倉北区馬島

昨年度参加人数 55人

活動頻度 毎週金曜日に定例活動、月に数回 土日に活動

14 青空学プロジェクト

環境啓発

学生自らが実践するSDGs



青空学プロジェクトは2016年に誕生しました。北九州市は過去に公害が発生していましたが、企業や行政の責任を追及するだけでなく、市民自ら運動を起こし、公害を克服していきました。その精神に倣い、私たち学生も地域の環境に関する問題を見つけ、解決していくことを目指しています。2017年度までは北九州市の公害を克服した当時の関係者への取材とそのまとめ、啓発活動を行ってきました。昨年度からはSDGsに着目した活動を行っています。

✔ こんな人におすすめ！

- 環境問題に興味のある人
- ルーティンワークではなく自分の考えた活動を行ってみたい人
- 大学生活で打ち込めるものを見つけたい人

おもな活動場所 北九州市立大学 エコハウス(里山を考える会:八幡東区)

昨年度参加人数 3人

活動頻度 毎週水曜 定例ミーティング

13 まち美化魅力向上プロジェクト Clear supported by MIKUNI

環境活動

課題解決で価値向上 ~Clearを目指して~



高速バスの昇降口であり北九州の玄関口とも呼ばれている三萩野バス停ですが、ゴミが散乱して薄暗く、利用者が気持ちよく使える場所ではありませんでした。これらの問題を解決し、三萩野バス停の価値を向上させるために、毎週のミーティングやゴミ拾い活動を行ったり、実際に現場に行きバス停の利用者へアンケート調査を行うなど、啓発活動・広報活動を行っています。

✔ こんな人におすすめ！

- アイデアを形にしたい人
- 責任感がある人
- 課題解決について実践で学びたい人

おもな活動場所 三萩野バス停周辺

昨年度参加人数 7人

活動頻度 週に1回の定例清掃活動 毎週一コマの学内ミーティング

10 食べる国際貢献プロジェクト TFT

国際貢献

ランチから始めるおいしい国際貢献！

世界では全人口約70億人のうち、20億人が肥満に苦しむ一方で10億人は飢餓に苦しんでいます。この食の不均衡を解決するために、私たちは学食でTABLE FOR TWO(以下TFT)メニューを販売し、1食につき売上の20円を途上国の子どもの給食1食分の寄付金として届ける活動を行っています。生協食堂にご協力いただき、月1回のTFTフェアの開催と、その広報活動を主にしています。

✔ こんな人におすすめ！

- 美味しいものを食べて国際貢献したい!
- ポスターやポップの作成など広報活動を経験してみたい!
- 身近な“食”を通して、飢餓や肥満など食に関する国際的な問題について考えたい!

おもな活動場所 北九州市立大学 北方キャンパス 北方食堂

昨年度参加人数 17人

活動頻度 毎週一回、メンバーの都合がよい曜日の昼休みにミーティングをしています。調理実習や学園祭への出店などの企画直前の忙しい時期は、ミーティング外の活動が週に1~2時間程度生じます。

11 国際交流プロジェクトFIVA

国際交流企画

笑って、学んで、楽しむ。北九州市で国際交流。

北九州市に日本の技術を学びに来るJICA研修員さんやYMCA日本語学院で日本語を学ぶ留学生の方たちに、日本滞在期間中に充実した時間を過ごしてもらうための国際交流を行っています。自分たちで一から交流活動の企画・運営をすることで、交流づくりの楽しさや異文化理解の重要性をより深く学ぶことが出来ます。また、地域住民のご協力も得ながら多文化共生の心を育むことを目標としています。

✔ こんな人におすすめ！

- 多文化共生に興味がある人
- イベントの企画・運営が好きな人
- 継続的に物事に取り組める人

おもな活動場所 北九州市内各所

昨年度参加人数 61人

活動頻度 ミーティングなど:毎週水曜日昼休み
イベント:月1~2回程度

14 青空学プロジェクト

環境啓発

学生自らが実践するSDGs

青空学プロジェクトは2016年に誕生しました。北九州市は過去に公害が発生していましたが、企業や行政の責任を追及するだけでなく、市民自ら運動を起こし、公害を克服していきました。その精神に倣い、私たち学生も地域の環境に関する問題を見つけ、解決していくことを目指しています。2017年度までは北九州市の公害を克服した当時の関係者への取材とそのまとめ、啓発活動を行ってきました。昨年度からはSDGsに着目した活動を行っています。

✔ こんな人におすすめ！

- 環境問題に興味のある人
- ルーティンワークではなく自分の考えた活動を行ってみたい人
- 大学生活で打ち込めるものを見つけたい人

おもな活動場所 北九州市立大学 エコハウス(里山を考える会:八幡東区)

昨年度参加人数 3人

活動頻度 毎週水曜 定例ミーティング

15 平和の駅運動プロジェクト

平和・人権

太鼓で“核なき世界を”長崎街道を平和ロードに！

「北九州市小倉が、実は原爆投下の第一目標だった」という歴史的事実を重く受け止め、「北九州市の学生だからできること」をモットーに、北九州市小倉に根付く伝統芸能“小倉祇園太鼓”を用いて、音楽と若さの力で平和を訴える文化的平和活動を行っています。夏には自転車でお倉から長崎まで自転車リレーをしながら広島原爆の残り火を運ぶ活動を行っています。

✔ こんな人におすすめ！

- イベントを一から発案・企画・運営してみたい人
- 大学でかけがえのない仲間と出会いたい人
- 北九州でしかできないことを経験してみたい人
- アグレッシブに活動したい人

おもな活動場所 北九州市、長崎市、馬場市

昨年度参加人数 6人

活動頻度 毎週火曜日、月2~10時間程度活動